2022年度上半期 活動報告

イベントレポート

芸術鑑賞日帰りバス旅行

日　　程：6月9日（木）
時　　間：7：30～16：30
参加人数：35名

コロナ禍で中断していましたが、感染者の減少傾向を踏まえ、行先は近場の箱根へ。検温・消毒など予防対策を徹底する中、3年ぶりの実施となりました。
バスは最初の目的地、ポーラ美術館に到着。企画展「ポーラ美術館開館20周年記念展モネからリヒターへ－新収蔵作品を中心に」を開催中で、モネ、ルノアールなど印象派の作品と、リヒター、エヴァンスなど現代作家の作品を同時に鑑賞できました。同館の周囲には遊歩道があり、緑の中を皆さまとおしゃべりしながらの散策は、心和むひとときでした。
午後は岡田美術館へ。入口の大壁画「風・刻」（風神雷神図）は圧巻の迫力です。館内には日本、中国、韓国の陶磁器や絵画がずらりと並び、見ごたえ十分。夢中で見始めたら、予定の2時間があっという間に過ぎてしまいました。
箱根の自然と、一流の美術品の数々を堪能した今回のバス旅行。久しぶりに皆さまとお会いし、人との出会いの大切さ、また美しいものを見る喜びをしみじみと実感した一日でした。
（ミューズクラブ運営委員　野村 晴香）

昼食は、「懐石料理　花壇」の「花乃膳」。
食事処から見る景色や内装も好評でした。

散策路脇にも作品がありました。

佐野美術館　展覧会情報

小原古邨　海をこえた花鳥の世界
－原安三郎コレクションを中心に
2022年 9月3日（土）－ 10月23日（日）

「鎌倉殿」と武将たち
－浮世絵版画・浅井コレクションの名品　歌川国芳から月岡芳年まで
2022年 10月29日（土）－ 12月18日（日）

乱世を駆け抜けた名刀
－戦国の動乱から徳川の時代へ－
2023年 1月7日（土）－ 2月12日（日）

佐野美術館でひな祭り
2023年 2月18日（土）－ 4月2日（日）

ミューズクラブ会員　募集中

- ●正会員：1万円
- ●ゴールド会員：2万円
- ●特別会員：10万円

ミューズクラブでは会員を随時募集しています。年間パスポートの発行やショップでの買物1割引（商品によっては割引出来ない場合があります）、会員限定イベントの開催など様々な特典があります。詳しくはミューズクラブ事務局**（TEL055-975-7278）**までお問い合わせください。

※敬称略、50音順

新規入会者（2022年4月1日～）
特別会員　西田光作
ゴールド会員　大庭芳和
正　会　員　新井裕美、井原令威子、勝見知世、神尾千弥子、松井裕美、美和しのぶ

Number 30 2022.09
佐野美術館賛助会ミューズクラブ会報　ミューズ交歓
2022年9月号／第30号
発行日／2022年9月1日　編集・発行／佐野美術館賛助会ミューズクラブ
〒411-0838　静岡県三島市中田町1-43　TEL:055-975-7278　FAX:055-973-1790　ホームページ：https://www.sanobi.or.jp/

佐野美術館賛助会ミューズクラブ会報

ミューズ交歓

佐野美術館と皆さまをつなぐ

Number 30 2022.09
Muse Club Magazine
SANO ART MUSEUM

EVENT
2022年度下半期
イベント
スケジュール
2022

2022年度下半期に開催されるイベントをご紹介します。
お気軽にご参加ください。
※諸事情により変更や中止の場合があります。

十三夜の宴（じゅうさんやうたげ）

日　時：2022年10月8日（土）
　　17：00受付・開場／17：30開宴
会　費：会員 3,000円
　　一般 4,000円
定　員：約100名（要申込・先着順）
会　場：佐野美術館庭園内　※雨天の場合は中止
出　演：沈琳（シェンリン）（二胡）、MAKI code“M”（ピアノ）、
　　仙道さおり（パーカッション）

月と音楽を愉しむ演奏会「十三夜の宴」。
国の登録有形文化財である隆泉苑の庭園を会場とし、美しい調べを秋空のもとで聴いていただく屋外コンサートです。
今回は沈琳（シェンリン）さん（二胡）、MAKI code“M”さん（ピアノ）、仙道さおりさん（パーカッション）を迎えます。
今回のために編成されたメンバーでの演奏は、十三夜という秋の実りに感謝し、美しい月を愛でる日をより特別なものにしてくれます。月明かりの下、情緒あふれる美しいハーモニーを是非ご堪能ください。
お帰りの際、季節の特製弁当をお持ち帰りいただきます。
※例年演奏会後に行っていた懇親会（あたたかいバイキング形式のお食事）・抽選会は、安全面を考慮し今年度は行いません。

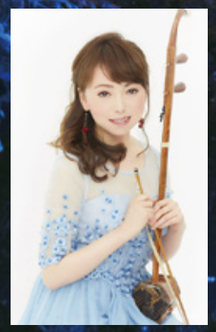
2022年度 活動予定

イベントスケジュール

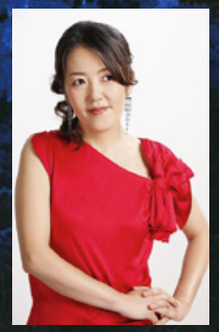
2022年度下半期に開催されるイベントをご紹介します。皆さまのご参加をお待ちしております。
諸事情により変更や中止となる場合があります。

十三夜の宴（じゅうさんやうたげ） 演奏者プロフィール

日　時：2022年10月8日（土）　17：00受付・開場／17：30開宴
会　費：会員 3,000円　一般 4,000円
定　員：約100名（要申込・先着順）
会　場：佐野美術館庭園内 ※雨天の場合は中止
出　演：沈琳（シェンリン）（二胡）、MAKI code “M”（ピアノ）、仙道さおり（パーカッション）



沈琳（シェンリン）（二胡）
中国揚州市出身。幼少時より二胡を始め、12歳で初来日。日中友好特別演奏会等で「二泉映月」を演奏。19歳の時、江沢民前総書記主催のシラク大統領・訪中歓迎会で独奏。2005年に来日。TBS唐招提寺PJの奈良唐招提寺落慶法要で独奏。二胡教室を横浜市各地や茨城県で主宰、自身のコンサートを横浜市内の区民文化センターなどで開催。



MAKI code “M”（ピアノ）
東京藝術大学作曲科卒。音楽集団code“M”（こーどえむ）を2000年に設立し、バラエティに富む公演を各地で開催。和楽器入りの編成が初期から特徴。創作日本舞踊“櫻子、切支丹の鐘”（国立劇場）への委嘱作品をはじめ、様々な舞踊とのコラボレーションも盛んである。創造性を駆使し、多様性ある現場にも積極的に取り組んでいる。

仙道さおり（パーカッション）
5歳よりドラムを学び、18歳からラテンパーカッションを始め、19歳でプロとしての活動をスタート。主な共演者に葉加瀬太郎・長谷川きよし・大野雄二・ロスインディオスなど。

館蔵品特別鑑賞講座 ※会員のお連れ様であれば、一般の方もお申し込みいただけます。

～浮世絵編

日　時：2022年11月26日（土）14：00～15：30
会　費：2,000円（会員）
定　員：12名（要申込・先着順）
会　場：佐野美術館庭園内「隆泉苑」

佐野美術館所蔵の浮世絵版画数点および、葛飾北斎の肉筆浮世絵「着衣鬼図」「田植図」を鑑賞いただきます。講師は河内えり子学芸グループ長が務めます。開催中の「『鎌倉殿』と武将たち」展に合わせ、浮世絵の見どころなどをお話しします。講座後に展覧会を鑑賞すれば、より理解が深まることまちがいなしです!葛飾北斎の「着衣鬼図」や「田植図」は国内外の北斎展でも展示される名品です。展示ケース越しではなく、間近で見る作品は迫力も違います。貴重な機会ですので是非ご参加ください。

2019年度「掛け軸編」の様子

～日本刀編

日　時：2023年1月～2月中のいずれか1日
　　14：00～15：30
会　費：2,000円（会員）
定　員：12名（要申込・先着順）
会　場：佐野美術館庭園内「隆泉苑」

佐野美術館所蔵の日本刀を鑑賞いただきます。日本刀の鑑賞講座は3年ぶりです。新型コロナウイルス感染症対策のため、例年のようにお手にとっての鑑賞は出来ませんが、渡邉理事長の解説のもと、間近で日本刀の鑑賞ができる貴重な機会です。また、皆さまからのご質問に対する理事長のお話も興味深く面白いと、人気の講座です。

2021年度「刀装具編」の様子

※各イベントの募集は開催日の約1～2ヶ月前から行います。
※会員の皆さまは随時お届けしておりますイベントチラシをご確認の上お申し込みください。

2022年度上半期 活動報告

イベントレポート

会員のつどい

日　　程：2022年4月29日（金・祝）
時　　間：15：00～17：00
参加人数：16名

ミューズクラブの総会にあたる「会員のつどい」が、3年ぶりに開かれました。2021年度決算・事業報告、2022年度予算・事業計画等の報告があり、満場一致で承認されました。2022年度も興味深い展示やイベントが計画されており、きっと皆さまにお楽しみいただけるでしょう。
さて、お楽しみは総会後の落語。今年は古今亭志ん松さん。一席目は「長短」。気のなが～い長さんと短い短七さんの掛け合い。長さんのゆっくりとした話しぶりには聞き手も苛立つほどでした。二席目は「崇徳院」。恋煩いで寝込んでしまった若旦那のために、崇徳院の上の句「瀬をはやみ岩にせかるる滝川の」を手掛かりに一目ぼれしたお嬢さんを一生懸命探す熊五郎の奮闘が実って「われても末に逢わむとぞ思ふ」ふたりがめでたく結ばれるという噺。

なお、いつもならばこの後噺家さんを交えて懇親会が開かれるところでしたが、時節柄今回はなし。来年こそは、と期待するばかりです。

（ミューズクラブ運営委員　梅原 秀宣）

第17回ミューズクラブゴルフ大会

優勝は伊丹秀之さん

日　　程：2022年5月19日（木）
時　　間：9：00～17：30
参加人数：24名

ミューズクラブゴルフ大会に出席して
去る5月19日、芦の湖カントリークラブにて晴天のなか、緒明春雄様、佐野昌彦様、福士博光様と1日楽しくプレイさせていただきました。終わってみたら、なんと私が優勝ということで、一番ビックリしたのは実は私なんです。何回か前に御一緒させていただいた時は、大変緊張したことを覚えております。今回はスタートの時からリラックスし、和気あいあいにプレイさせていただきました。ゴルフの力とか・・・と思うのですが、人と人とを不思議に引き付けるところがあります。また、1日中白い球（ボール）を追いかけ歩き続ける、大変健康に良いスポーツと思っております。そして、この様な大会を無事終了まで頑張った担当者の方、ご苦労様でした。良い思い出をつくることが出来ました。ありがとうございます。

（特別会員　㈲松韻　伊丹 秀之）

初夏のさわやかな気候の中、皆さまのびのびとプレーを楽しみました。